

第2回 湖西市バス運行評価改善委員会 会議録

日 時：令和2年11月25日（水）10時00分～

場 所：湖西市健康福祉センター 3F 小会議室

出席者：14人

委員長	杉木 直	豊橋技術科学大学 准教授
副委員長	板倉 福男	湖西市自治会連合会
委員	杉浦 徹衛	湖西市老人クラブ連合会
委員	安間 明美（欠席）	湖西市社会福祉協議会事務局
委員	浮海 恵理	湖西市商工会
委員	近藤 うた子（欠席）	新居町商工会
委員	河邊 登（欠席）	公募市民
委員	藤井 早苗	公募市民
オブザーバー	江間 綾子	国土交通省静岡運輸支局
オブザーバー	松林 花奈	静岡県地域交通課
オブザーバー	高邑 和樹	湖西市役所学校教育課
事務局	安間 祐輔	遠州鉄道(株)運輸業務部
事務局	良知 正規	浜松バス(株)
事務局	北見 浩二	湖西市 産業部 産業振興課長
事務局	馬淵 豪	湖西市 産業部 産業振興課 課長代理
事務局	伊藤 明生	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係
事務局	小笠原 大悟	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係

配付資料： 会議次第

資料1：湖西市バス運行評価改善委員会 一次評価書 取りまとめ一覧

資料2：今年度の取り組みに関する評価及び来年度の取組提案（事務局案）

参考資料：コーちゃんバス利用者数、平均乗車人数（1日、1便当たり）について

1 開会

2 委員長挨拶

今回は、前回の委員会にて示された事務局案に対して多くの意見が出され、それを踏まえて事務局にて作成された修正案について協議いただくとともに来年度の計画についてもご議論いただく内容となります。委員のみなさまの知見より引き続き活発なご議論をいただきながら円滑に進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

3 議題

(1) 一次評価の妥当性及び改善策の検討について

<事務局>

- 資料説明（資料1、資料2、参考資料）

<委員長>

- はじめに評価の指標について1便当たりの平均乗車人数を加えることで、路線の評価が変わってくる可能性がありますので、そちらを先に決めていきたいと思っております。

<委員>

- 1日当たりの平均乗車人数では、路線の見直しの際の根拠の1つとなる1台当たりの乗車人数が見えないため、指標として掲載する方が良いと思っております。

<委員長>

- 私も同じ意見で、利用者の状況に合わせて減便しており、どの程度効率的な運行に変化しているかを示す指標になるため、1便当たりの平均乗車人数に変更しても良いのではないかと思います。そういった観点からみると、コロナ禍の状況にあっても多くの路線で1便当たりの平均乗車人数は増加しており、改善していると思っております。ただし、判定結果を出す際の基準については検討が必要になりますが、事務局案などはありますか。

<事務局>

- 路線毎の利用者数、1日当たりの平均乗車人数など同様の数字にすると5%が1つのラインになると考えます。適切か否かの判断が難しいところではありますが、他の指標と統一した方が良いと考えております。

<委員>

- 1便当たりの平均乗車人数を掲載した方が良いと思っております。理由としては、1日当たりでは、路線毎の利用者数とほぼ同様の評価となってしまう点とバスの利用者はほぼ固定客と考えると新たな利用者を増やすことは難しいですが、1便当たりを追加することで、便の見直しによる効率化の結果などが見える点があるからです。また、指標を加えたことで定量的な評価の一部がAとなっても全体の評価として変更は必要ないと思っております。

<委員長>

- 同意見です。見える形で示した方が良くと思いますし、評価をするにあたり様々な視点から見ることも大切だと思います。みなさんいかがでしょうか。

【異議なし】

<委員長>

- 事務局は、1便当たりの平均乗車人数を追加する形で修正をお願いします。

<委員長>

- 次に複数の項目に跨る部分についてご意見をいただきたいと思います。項目としては、バス利用啓発ポスターの企画・作成・見直し、小学生や高齢者を対象とした乗り方教室の開催、バスの日イベントでの啓発活動の実施の3点です。すべてコロナ禍の影響により実施が出来なかったということでしたが、各委員の意見が大きく2つに分かれており、コロナ禍の影響であり、検討した結果、中止であればBで良いというものとCのままで良いというものがありました。市の案としては、少し厳しめにCに統一するとのことでしたがみなさんのご意見をお聞かせください。

<委員長>

- 市としては、別の方法を検討するべきではなかったかということでCとしており、それを来年度の取組提案に反映しているとのこと。それを踏まえると小学生や高齢者を対象とした乗り方教室の開催についても来年度の取組提案を膨らませて記載いただいた方が良くと思います。

<委員>

- コロナの影響もわかりますが、その状況の中でできることを検討していただいた方が良くと思います。

<委員長>

- その部分を来年度の取組提案に記載していただきたいという意見で良いでしょうか。

<委員>

- そのとおりです。

<事務局>

- 評価指標のどこに着目するかがポイントになると思います。一定の効果があつたのかという部分を考えればできていない以上一定の効果があつたと言えません。検討は行つたが、検討だけでは効果がでない。ただし、その検討は来年度に繋がる検討であつたと考えます。評価改善委員会にて来年度に向けてしっかりやるべきという意見をいただければそれが来年度への後押しにもなります。

<委員長>

- 事務局側の今後に対する前向きな態度を考慮して評価はCとして、来年度の取組に反映していくという形でいかがでしょうか。

<委員>

- 評価に対しては意義ありません。小学生や高齢者を対象とした乗り方教室の開催については、オンラインで伝える方法などもあるので来年度の取組提案に追記をしていただければと思います。

<委員長>

- それでは、評価はC、来年度の取組提案に一部追記をしていただく形でお願いしようと思いますがいかがでしょうか。

【異議なし】

<委員長>

- その他項目について修正・反映内容の確認

<委員>

- 地域リーダーの実証実験について来年度の取組提案に知波田地区内の自治会などと連携しと記載があるが、今年度までは行っていなかったように感じるが、それ以外の取組はないのかと感じます。また、白須賀地区は成功例のように感じるが、そちらで行ったことを知波田地区に導入してはどうかと思います。それを知波田地区で行うつもりがあるようであれば記載した方が良いのではないのでしょうか。

<事務局>

- 白須賀地区で行っていたことは知波田地区でも同様に行っております。ただし、民生委員の方への協力依頼の実施回数などについては、少なかったと認識しております。来年度の取組提案については、自治会や民生委員と継続して連携しという形に変更したいと思いますがいかがでしょうか。

【異議なし】

<委員>

- 夏休み小学生 50 円バスの継続実施の来年度の取組提案で唐突に豊橋市と協力しながらと出てくるが、どういう内容ですか。

<事務局>

- こちらは、例年豊橋市でも同様の事業を行っており双方のチラシで同様の事業を行っている旨の啓発を行っております。その点より豊橋市と協力しということにしております。

<委員>

- 敢えてこちらに記載する必要がないのではないかと感じます。

<委員長>

- これの対になる資料である事業報告にその旨の記載はありますでしょうか。

<事務局>

- 記載はありません。

<委員長>

- それでは、事業報告の中にその旨を記載していただければ問題ないと思います。一緒に行っているのは豊橋市だけでしょうか。もし他にあるようであればそれを踏まえて記載をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

【異議なし】

<委員>

- コーちゃんバスを上手に利用する会の取り組みについて、コースを企画しても周知が行われていなければ効果がでないので、来年度の取組提案の項目に周知についても追記をお願いしたいと思います。

<委員長>

- コーちゃんバス各路線別評価及び来年度の取組提案のページについては、1 便当たりの平均乗車人数を追加する部分を考慮して修正を行っていただければと思います。知波田鷲津線と入出新所鷲津線は、知波田入出線の1路線になりますが来年度どのように評価を行う予定でしょうか。来年度に向けて検討をお願いします。

<委員長>

- その他、全体についてご意見はありますか。

【特になし】

閉会